



調査区遠景（真上から）

よみがえる壮大な大手門

せんだいじょうあと

⑧史跡仙台城跡（仙台市青葉区川内）



遺跡の詳細な解説動画
はこちらから！



遺跡遠景（南から）

仙台城跡は、仙台市の市街地西方に位置し、広瀬川の対岸にある仙台城下を一望できる青葉山に立地しています。

仙台市教育委員会により大手門の将来的な復元に向けた発掘調査が、令和5年から開始されています。

調査の結果、大手門の礎石そせきの据付穴すえつけあなが3箇所みつけられました。

大手門の一部を確認できたことから、絵図や写真で記録されている焼失前の大手門の位置を実証することができました。

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

江戸

明治



大手門跡推定位置

脇櫓
(1967年再建)

礎石の据付穴（黄色）には、18cm以下の河原石のまとまりがみられました。
かわら いし



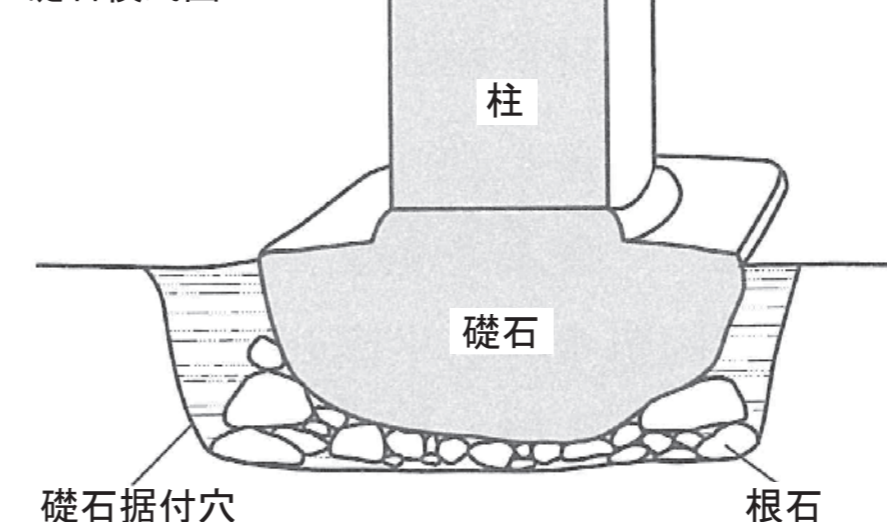
仙台城大手門
(仙台空襲での焼失前)
仙台市教育委員会 1967年『仙台城』



大手門南面
(仙台空襲での焼失前)
仙台市教育委員会 1967年『仙台城』

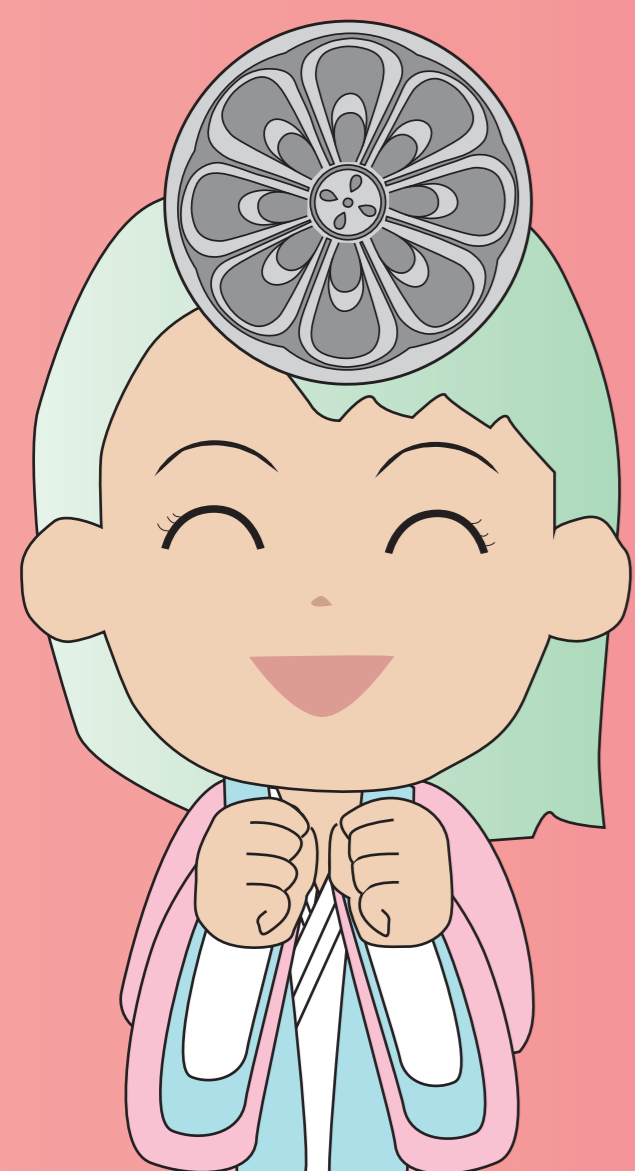


礎石模式図



礎石据付穴
文化庁文化財部記念物課 2013年
『発掘調査のてびき ー各種遺跡調査編ー』より

河原石は、根石とよばれるものです（礎石を安定させるため周囲に詰められた石）。礎石は戦後の工事で失われていました。
ね いし



大手門の復元に向けた大きな手がかりだね。大手門についていろいろとわかるのがとっても楽しみ！

協力：仙台市教育委員会